



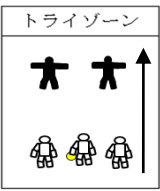
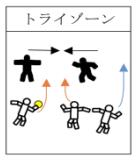


○ 指導計画（9時間）

- (1) オリエンテーションをする、試しのゲームをする。————— 2時間
- (2) ゲームをとおして、動きを高める。————— 6時間
- ・ 守りをかわして走り抜ける動き（攻2人対守1人、守りが動ける範囲制限あり→なし）・・・2
  - ・ ボール非保持者とボール保持者の動き（攻3対2人、タグの回数制限なし→あり）・・・2
  - ・ 作戦選び（攻3対守2、タグの回数制限3回→2回）・・・1/2（本時）
- (3) 「とっばゴーゴークップ」を楽しむ。————— 1時間

○ 本時の目標

チームで守りをかわして走り抜ける作戦について、仲間のよい動きを言葉や動作で伝えることができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備運動</li> <li>○ 場の準備</li> </ul> <p>2 本時の運動課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規則の提示</li> <li>○ 運動課題</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>守りをとっばするには、どうすればよいのかな？</p> </div> <p>3 ゲーム1をする（守りをかわして走り抜ける作戦づくり）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規則の確認</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>トライゾーン</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チーム内で攻守を分担</li> <li>・ 3(攻)対2(守)</li> <li>・ ボール1個</li> <li>・ ボール保持者がタグを取られたら止まる。→パスする(投げ可)。</li> <li>・ 前へのパスは禁止(パスを出した位置から再スタート)</li> <li>・ タグを2回取られたら終わり</li> <li>・ 攻めと守りをローテーション</li> <li>・ スタート時のボール保持者を交代しながら行う。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲーム→話し合い→ゲーム→話し合い…</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを持っていない人がもらうふりをして相手をだましてはどうか。</li> <li>・ 走り抜けると見せかけてパスするとよいか。等</li> </ul> </div> <p>4 ゲーム2をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲーム(前半)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【ゲーム2の規則】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 得点したら、メンバーをローテーション</li> <li>・ チームで2回タグを取られたら終わり→相手チームと攻守交代</li> <li>・ ボール保持者が相手のトライゾーンに走り込んだら1点</li> </ul> <p>※ ゲーム1からの変更・追加点のみ記載</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作戦タイム</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【予想される作戦】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>おとりパス作戦</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>ひきつけ作戦</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>もらうふり作戦</p>  </div> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲーム(後半)</li> </ul> <p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ チームでの守りのかわし方</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰がどうしていたか</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを持っている人が、おとりになった。</li> <li>・ ボールを持っていない人が、ボールをもらうふりをして走った。等</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時のゲームのなかで行う走る動きやかわす動きに関する準備運動をすることで、本時のゲームに生かすことができるようにする。</li> <li>○ タグを取られてもよい回数を2回から1回に変更することにより、少ない回数で守りをかわして走り抜ける動きの必要感を高める。そうすることで、ボール保持者を追走するなどのボール非保持者の動きを想起することができるようにする。</li> <li>○ チーム内で攻守を分担したゲームを行い、1プレイ毎に守り役が中心になって攻め方についての簡単なふりかえりをさせる。そうすることで、守りの側から見た相手をかわして走り抜ける作戦の有効性をチームで共有することができるようにする。</li> <li>○ スタート時のボール保持者を交代しながら攻めさせることで、ボールを持っているときと持っていないときのそれぞれの動きについて考えることができるようにする。</li> <li>○ 状況に応じて動きを選択して体現することが難しい子どもには、「守りが近付いてきたらパスを出す」等の助言をすることで、チームで守りをかわして走り抜ける動きに近付くことができるようにする。</li> <li>○ 作戦ボードを使って、ボール非保持者とボール保持者の動きを考えさせることで、誰がどのように引き付け、誰が走り抜けるのかについて位置や方向等を共有することができるようにする。</li> <li>○ ゲーム中、運動観察者には、ボール非保持者の動きを後方と側方から観察させることで、ボール保持者を走り抜けさせるための動きについて、仲間の身体をとおして気付くことができるようにする。</li> <li>○ チームで守りをかわすために、ボール保持者とボール非保持者の動きについて付箋紙に記入させることで、それぞれのよい動きに気付くことができるようにする。</li> <li>○ 見つけた仲間のよい動きを言葉や動作で伝え合わせることで、「おとりになる」「引き付ける」等のチームの勝利につながる動きの価値に気付かせ、次時以降への挑戦意欲を高められるようにする。</li> </ul>

○ めざす子どもの姿

チームで守りをかわすために、「ボール保持者がおとりになる」「ボール非保持者が相手を引き付ける」等の仲間のよい動きを、言葉や動作で伝えることができている。

(思考・判断・表現)【観察・学習プリント】

